

令和7年度 第2回
枚方市上下水道事業経営審議会

配水管更新工事等への
公民連携手法の導入について（管路DB）

令和7年（2025年）11月11日（火）
枚方市上下水道局 上下水道部 上水道工務課

1. 背景・目的

■水道事業を取り巻く状況について

現状

- ・技術力を持ったベテラン職員の退職
- ・水道施設の経年化率が年々上昇
- ・給水人口、給水量の減少による給水収益の減少、
物価高騰などによる事業費の増加 etc.

ヒト・モノ・カネの不足

課題

良質で安全・安心で安定的な水道水を供給するため、
管路の更新・耐震化を着実に進めていく必要がある

水道の基盤強化

1. 背景・目的

■水道施設等の更新について

枚方市水道施設整備基本計画 中間見直し編 令和6年（2024年）3月
～施設整備の基本方針より～

③ 管路の更新・耐震化

強化



老朽化した管路の更新・耐震化を実施

[実績] 中宮浄水場から田口山配水場への送水管などについて更新・耐震化を実施しました。

[方向性] 送水管および配水本管・重要給水拠点に係る配水管の他、本市水道事業の基幹となる配水管の更新を行います。また、導水管の更新は、磯島取水場の特高受電棟の移設事業を優先し、次期計画以降に更新予定です。

効率的で効果的な
管路更新が求められる

・急所施設（水道）

・基幹管路

・重要給水拠点
に係る配水管

※急所施設（水道）とは、上下水道システムで、その施設が機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設（取水施設、導水管、浄水施設、送水管、配水池）

1. 背景・目的

基本方針5 民間活力の活用や協働を推進する				
No.8 公民連携による上下水道施設の更新・維持管理				
取組目標	現状・課題（令和6年3月時点）		改革の視点	取り組みの概要
	<p>本市の水道事業・下水道事業は昭和40年代からの都市化に合わせて施設・管路の整備を実施したことから、<u>水道事業では管路経年化率※1</u>下水道事業では管渠老朽化率※2が今後、急激に上昇するためその対策が課題となっている。また、現在D B O方式で進めている新浄水場運用に係る新たな体制や、施設・管路の点検・調査などの維持管理の体制づくりも課題である。</p> <p>※1：総延長に対する布設後40年を経過した管路延長の割合 ※2：総延長に対する布設後50年を経過した管路延長の割合</p>			<p>上下水道各施設の維持管理を民間に委ね行政だけでは実現が難しい管路の維持管理・更新事業を協働で行うことなど、民間事業者が先駆的に取り組み、公的な財やサービスの提供を進める「新しい公共」の考え方を踏まえ、民間の技術を活用した上下水道管路の老朽化対策及び施設・管路の点検・調査などの維持管理について公民連携手法を検討する。</p> <p>※枚方市水道ビジョン2022、枚方市下水道ビジョン2022に記載あり</p>
	R 6	R 7	R 8	R 9
	公民連携の手法等の検討		検討結果に基づく取り組み	
	民間活力による浄水施設運転維持管理業務（夜間・休日）		民間活力による浄水施設運転維持管理業務（全日）	
	<p>水道事業において国交省の「令和6年度水道事業官民連携等基盤強化支援業務」に選定され、官民連携スキームについて検討。下水道事業では、公民連携手法の導入について検討。浄水施設運転維持管理業務については、これまでも継続して夜間休日を民間活力により委託業務を実施した。また、中宮浄水場更新事業では、PPP手法のDBO方式を利用した事業を進めており、今後、さらなる民間活力の活用、効率化を目指し全日の運転維持管理業務に取り組む。</p>			
	目標効果額	－ 千円	－ 千円	
	実績効果額	－ 千円	千円	
	その他指標	－		
目標値	－	－	－	
実績値	－	－	－	

HIRAKATA
CITY

行財政改革プラン2024
— 未来につながる“いま”を改革 —

別冊 具体的な取組 目標と実績

Ver. 3

1. 背景・目的

■水道の基盤強化に向けた取り組みについて

枚方市水道施設整備基本計画 中間見直し編 令和6年（2024年）3月
～施設整備の基本方針より～

① 民間活力の導入

継続

枚方市水道施設整備基本計画
～施設整備の基本方針～

枚方市
市長
市長

水道施設の老朽化、水需要の減少に伴う経営環境の悪化及び深刻化する人材不足など、水道分野を取り巻く課題に対応するため、民間活力を利用した水道の基盤強化を実施

[実績] 中宮浄水場更新事業において、DBO方式を採用しました。

[方向性] 老朽化する管路の更新・耐震化をスピードアップするため、管理・更新一体マネジメント方式（ウォーターPPP）など、民間活力を利用する様々な方策の検討を行います。

新たな管路更新・耐震化の整備手法を検討

2. 内容

■新たな管路更新・耐震化の整備手法

期間短縮、コスト縮減、民間技術の活用

期待できる効果

- ・ 設計と施工を一体化させることで工程を並行して進め、資材の先行発注が可能となり、**事業全体の期間短縮に期待**
- ・ 設計段階から施工業者と連携することで無駄を省き、より**効率的な事業遂行に期待**
- ・ 民間企業の企画力や技術力を導入することで、事業の質を高め、**効率的な管路更新に期待**

管路DB

管路の設計・施工の一括発注
Design Build デザインビルド方式

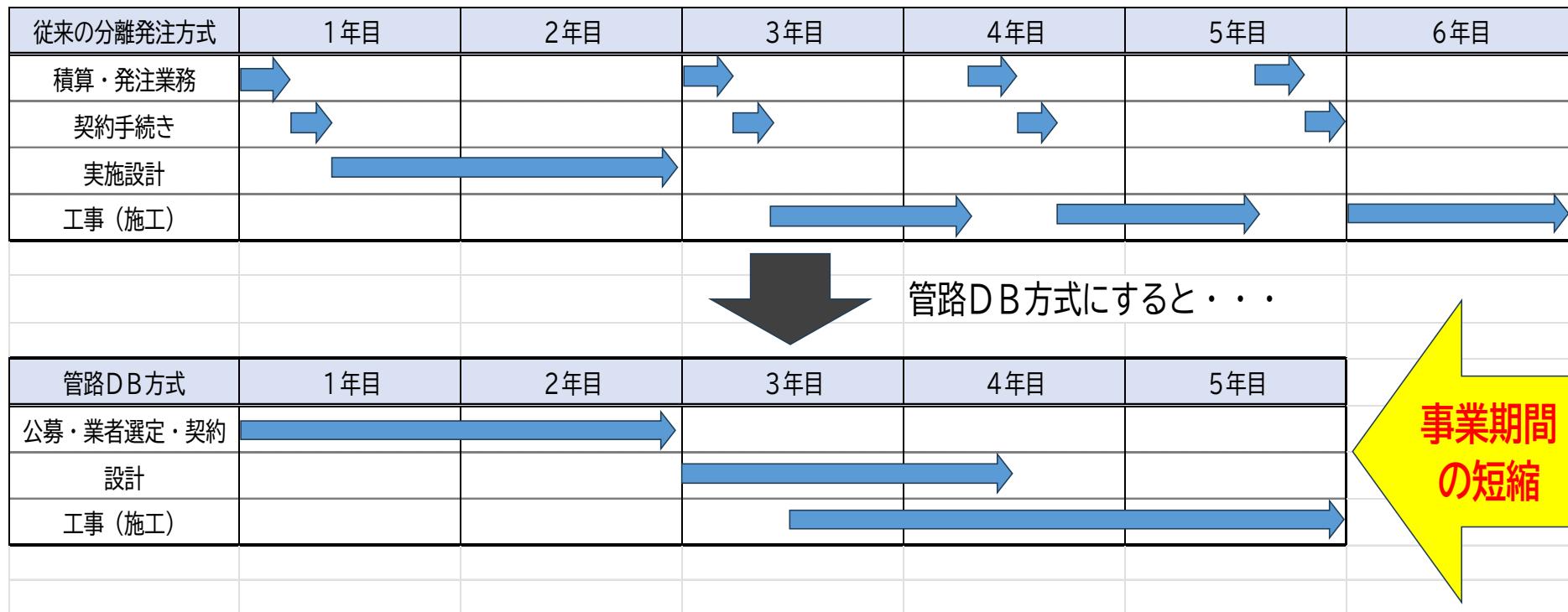
管路DBとは・・・

- ・ 1つの業者（または企業体）に管路の設計（図面作成など）と実際の工事（施工）の両方をまとめて発注
- ・ 従来の発注方式では水道事業者が担っていた設計業務の一部を民間事業者に委託し、専門知識や技術を活用

2. 内容

■管路DB（管路の設計・施工の一括発注）

事業完了までのスケジュール【イメージ】



3. 実施時期等

■管路DBの導入に向けた予定スケジュール

令和7年度（2025年度）

- ・管路DB発注支援業務委託を発注、契約締結

令和8年度（2026年度）以降

- ・事業スキームの検討、入札公告関連資料等の作成・精査
- ・管路DB発注手続き
- ・管路DB業者との契約締結、事業開始